

令和7年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 12号

令和7年6月30日(月)発行

校長 関根 崇史

ルール と マナー について考える

学校生活や社会生活を送る上で、ルールとマナーはとても大切なものです。これらは、子供たちが安心して過ごし、社会の一員として成長していく上で欠かせない要素です。

ルールは、みんなが安全に、そして公平に活動するために決められた「きまり」です。例えば、交通ルールや学校の校則などがこれにあたります。ルールを守ることで、大きな事故を防いだり、物事をスムーズに進めたりすることができます。

一方、**マナー**は、相手や周りの人への「思いやり」や「心づかい」を表すものです。あいさつができること、「ありがとう」や「ごめんなさい」が言えること、公共の場で静かにすること、順番を守ることなどがマナーの一例です。マナーは、必ずしも文字で書かれているものではありませんが、みんなが気持ちよく過ごすために自然と求められる行動です。

【家庭でのサポートのお願い】

学校では、日頃から子供たちにルールを守ること、そしてマナーを大切にすることを伝えています。廊下を走らない、時間を守る、友達に優しい言葉を使うなど、具体的な場面を通して指導しています。しかし、ルールやマナーを身につける上で、ご家庭でのご指導も非常に重要です。

□ルールを守る大切さを伝える

なぜそのルールがあるのか、守らないとどうなるのかを具体的に話してみてください。

□マナーの実践を促す

日常生活の中で、あいさつをすること、「ありがとう」や「ごめんなさい」を言うこと、食事のマナー、公共の場でのふるまいなどを意識させてください。

□大人が模範を示す

保護者の方が率先してルールやマナーを守る姿を見せることで、子供たちは、その後ろ姿から自然と学んでいきます。

【ルールとマナーの先にあるもの】

小学生のうちにルールやマナーが身についていないと、中学・高校、そして社会に出てからも、人間関係を円滑に築けなかったり、集団の中で孤立してしまったりするなど、様々な困難に直面する可能性があります。社会性や協調性が育たず、将来の選択肢が狭まることも考えられます。ルールとマナーを身につけることは、単に「お行儀が良い子」になるためだけではありません。これらを学ぶことは、周りの人を大切にすることを育み、社会で自立して生きていく力を養うことにつながります。



小学生の時期に基本的なルールやマナーを身につけることは、子供たちの成長や自立のために、非常に重要です。そのために、周りにいる大人たちが、場面を捉えて教えたり、率先して模範を示していくことが求められます。

学校でも指導をしていきますが、子供にとっての一番の手本は保護者の皆様を始めとする家族だと思えます。一番長い時間を過ごす家族が、一番影響力がある存在であるということ意識していただき、根気強く、繰り返しルールやマナーの大切さを伝えていってもらえるとありがたいです。

学校と家庭、地域との関係を深めることで、子供たちは多くの大人に見守られながら、社会の一員として必要なルールやマナーを身に付け、心豊かに成長していきます。今後も子供たちの健やかな成長のために、ご支援ご協力をお願いします。

